

令和4年度

金沢市埋蔵文化財調査年報

令和5年3月
(2023年)

金 沢 市
(金沢市埋蔵文化財センター)

例 言

1. 本書は、金沢市文化スポーツ局文化財保護課および金沢市埋蔵文化財センターが令和4年度に行った埋蔵文化財保護行政の概要、成果及び結果を公表することを目的として刊行するものである。
2. 本書は、令和4年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、分布調査および教育・普及・啓発活動に関することを中心に編集した。
3. 本書に掲載した埋蔵文化財の遺構・遺物等の写真は、それぞれの担当者が撮影した。
4. 各遺跡の遺跡番号は、石川県遺跡・文化財情報システム（平成25年度版）および金沢市遺跡地図に準拠している。

目 次

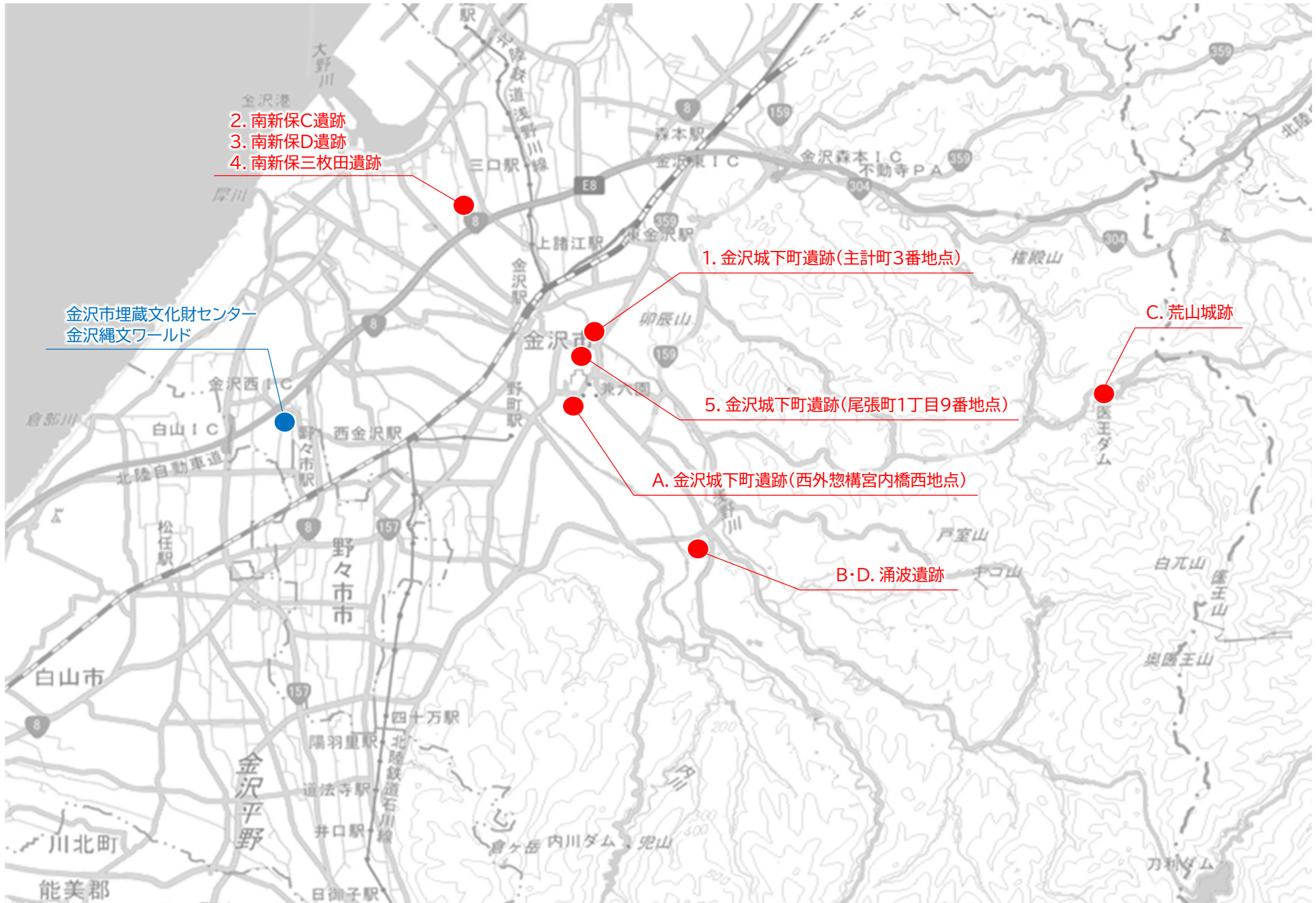
1. 埋蔵文化財発掘調査等事業	-----	1
2. 埋蔵文化財分布調査事業	-----	28
3. 教育・普及・啓発活動事業	-----	32
4. 組織	-----	39

1. 埋蔵文化財発掘調査事業等

(1) 埋蔵文化財発掘調査等一覧

No	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費(千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
緊急発掘調査										
金沢城下町遺跡（主計町3番地点）										
1	金沢市 主計町地内	37㎡	防火水槽埋設 (公 共)	20220629 ～ 20220802	河岸段丘	2,752	3箱	江戸	惣構堀跡 炉跡	近世陶磁器 近世土器 金属製品 石製品 木製品
南新保C遺跡【南新保遺跡群】 ※太字は南新保遺跡群3遺跡の合算										
2	金沢市 南新保町地内	5,400㎡	区画整理 (民 間)	20221111 ～ 20230307	沖積平野	258,224	300箱	弥生～室町	方形周溝墓 掘立柱建物 平地式建物 溝 土坑	弥生土器 土師器 須恵器 木製品 石製品
南新保D遺跡【南新保遺跡群】 ※太字は南新保遺跡群3遺跡の合算										
3	金沢市 南新保町地内	900㎡	区画整理 (民 間)	20220823 ～ 20220930	沖積平野	258,224	300箱	弥生、古墳	溝 井戸	弥生土器 土師器 木製品
南新保三枚田遺跡【南新保遺跡群】 ※太字は南新保遺跡群3遺跡の合算										
4	金沢市 南新保町地内	5,900㎡	区画整理 (民 間)	20220713 ～ 20221121	沖積平野	258,224	300箱	弥生～室町	方形周溝墓 掘立柱建物 平地式建物 溝 土坑	弥生土器 土師器 須恵器 木製品 石製品
金沢城下町遺跡（尾張町1丁目9番地点）										
5	金沢市 尾張町地内	94㎡	宿泊施設建設 (民 間)	20221005 ～ 20221122	沖積平野	3,591	4箱	江戸	土坑 石列 溝 礎石	近世陶磁器 近世土器 木製品 金属製品
学 術 調 査										
金沢城下町遺跡（西外惣構跡宮内橋西地点）										
A	金沢市 広坂1丁目地内	10㎡	史跡整備 (公 共)	20220601 ～ 20220610	河岸段丘	494	1箱	江戸	石垣 石垣裏込	近世陶磁器 近世土器
涌波遺跡（辰巳用水中流部管理通路石垣）										
B	金沢市 涌波町地内	25㎡	史跡整備 (公 共)	20221101 ～ 20221125	河岸段丘	2,416	1箱	江戸	石垣 石垣裏込	銭貨(寛永通宝)
荒山城跡										
C	金沢市 荒山町地内	77㎡	学術調査 (公 共)	20220907 ～ 20221028	山林	3,312	-	安土桃山	堀 土塁 柱穴	
涌波遺跡（土清水塩硝蔵跡）										
D	金沢市 涌波町地内	80㎡	学術調査 (公 共)	20230301 ～ 20230329	台地	3,820	1箱	江戸	土坑 水路跡 集石	近世瓦

(2)埋蔵文化財発掘調査位置図



1. 金沢城下町遺跡（主計町3番地点）

〈遺跡番号 新規発見のためなし〉

所在地：金沢市主計町地内

北緯 36° 57' 26"

東経 136° 66' 25"

調査面積：70 m²

種別：城下町・惣構跡

主な時代：江戸時代

担当：庄田 知充



■ 遺跡の概要

金沢城下町遺跡（主計町3番地点）では、歴史都市推進課が施工する主計町地区防火水槽設置工事に先立ち、記録保存のための発掘調査を実施した。

調査地は金沢城下の北西部にあたり市街地の北西部を流れる浅野川に面する。絵図との対比からは西内惣構の堀跡西岸部が検出されることが予想された。西内惣構は金沢城金谷出丸跡である尾山神社南辺を起点とし、主計町緑水苑で浅野川に至る。延長約1.6kmを測り、下流部の母衣町から緑水苑までの堀跡は開渠となっている。

調査地は、旧北国街道の浅野川大橋東詰から北西に約150mの地点で、主計町重要建造物群保存地区の北西一角にあたり、西内惣構の景観を復元した主計町緑水苑の南隣となっている。調査地付近では、浅野川堤防から約15～40m南西に離れた位置で比高差約4.5mの河岸段丘崖となっている。西内惣構の堀跡である水路はその断丘崖に切り込んで小河川の谷地形として浅野川へ流出している。

発掘調査は令和4年6月29日から同年8月2日にかけて行われ、工事影響範囲約37m²を対象とした。現地表面下約50cmまでは掘削機、以下は人力により掘り下げた。

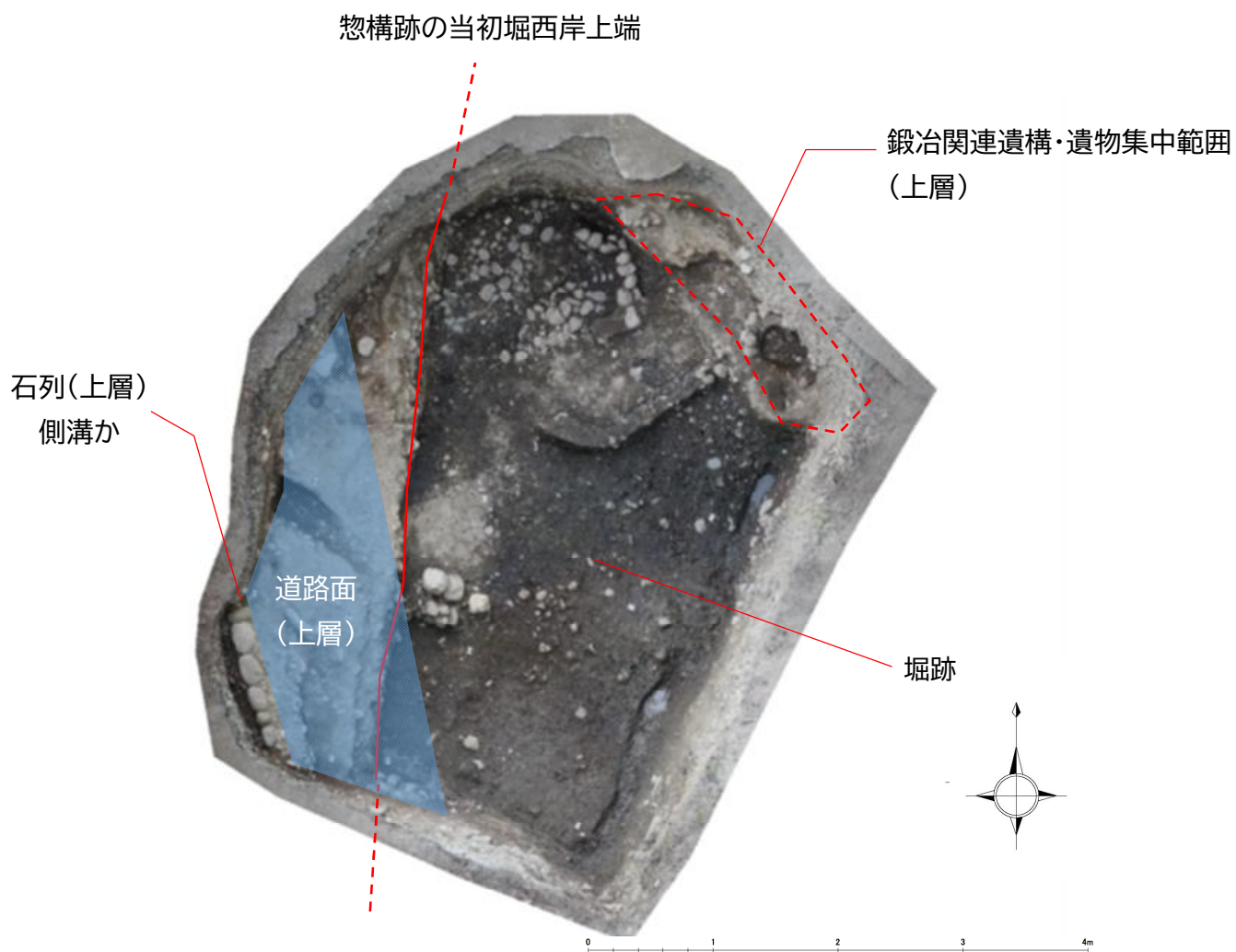
発掘の結果、西内惣構跡の堀跡および城から見て外側の堀西岸について固結砂礫層を削った素掘りの斜面として約5mにわたって確認した。堀西岸は直線的で対岸となる主計町緑水苑内の東岸とほぼ併行し、座標北から東へ約6度傾く。工事施工前に堀底を掘削機でさらに掘り下げる試掘を行い、堀底の最深部は現地表面から約2.7m、近世期の生活面から約2.1m下にあることを確認した。堀岸としての斜面形状を保っている堀底上層面は近世期の生活面から約0.8mの深さを測り、徐々に堀が埋没したことを物語っている。なお、西堀岸の上端の位置（平坦地と斜面との境界部）は、近世期を通じて大きく変化しない点では主計町緑水苑内の調査成果と符合するものである。

調査地南壁で確認された土層断面における構築当初の西堀岸の傾斜は約80度だったが、約2m埋没した後の西堀岸上層面（江戸後期～末期）の傾斜は約25度となることから埋没課程で堀岸の傾斜が緩やかになったことがわかる。また、西内惣構跡の堀西岸部において約90cm幅の砂利敷き硬化面を確認した。この砂利敷き硬化面は道路状遺構と考えられ、堀岸の埋没土の上に砂利敷きがついていた。層位的な観察から、この道路状遺構は堀底が約1.2m浅くなった段階で堀に沿って作られた通路と考えられる。道路状遺構の西端は西側に石面をもつ人頭大の石列で境界されている。調査区外のため確認していないが西側に対面する石列を伴う側溝の可能性はある。

上層において酸化鉄による硬化面、炉跡と推定される小穴が検出され、その周辺から少量ではあるがふいご羽口片、椀形滓を含む鉄滓が出土した。確認された層位関係から、18世紀以降の遺構・遺物

と考えられる。

藩政期の調査地周辺の居住者については、『寛文七年金沢図』（1667年・石川県立図書館蔵）において、調査地は堀を示す青色塗りの範囲内にあたりと考えられ、調査地北側の浅野川の道路沿い平坦地（民間ガレージ部分）の区画には「岡野治助」「山下権兵衛」「北嶋八左衛門」が列記され、調査区西側の斜面法面上の土地には「沢田友之助」の名がみられるが、いずれも由緒等明らかでない。



全体俯瞰写真



全体写真



西内惣構跡の西岸（奥側斜面）と土層



西内惣構堀跡の西岸（右側）と土層



出土遺物（下層）



石列と貼土（上層）



石列と貼土・碎石硬化面（上層）



溝（下層）



円形石組を伴う炉跡（上層）

2. 南新保C遺跡【南新保遺跡群】

〈遺跡番号 県：1290 市：149K〉

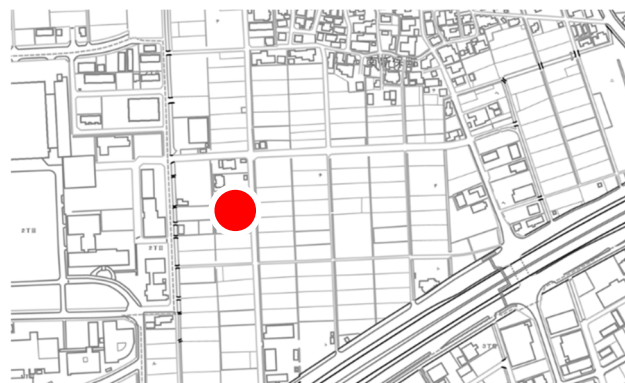
所在地：金沢市南新保町地内
北緯 36° 35′ 44″
東経 136° 37′ 58″

調査面積：5,400 m²

種別：集落跡

主な時代：弥生～室町時代

担当：谷口 明伸、鏡 百恵



■ 南新保遺跡群の概要

南新保遺跡群は、金沢市南新保町地内において金沢市南新保土地区画整理組合が施工する金沢市南新保土地区画整理事業地内で発掘調査を行っている遺跡の総称で、南新保C遺跡、同D遺跡、同三枚田遺跡、同ゴマヂマチ遺跡が含まれる。発掘調査は令和2年度から同8年度（予定）まで計画されており、3年目となる同4年度は南新保C遺跡、同D遺跡、同三枚田遺跡の3遺跡の調査を行った。

南新保遺跡群は金沢平野北部、犀川と浅野川に挟まれた金沢港まで約2kmの臨海部に位置する。かつては沼が広がり、小川が網目状に流れるような低湿地の中に点在する微高地上に集落等が営まれる立地環境であったと考えられる。周辺には上記4遺跡のほか、南新保A遺跡、同B遺跡、同E遺跡、及び弥生時代の大集落として知られる西念・南新保遺跡などが所在する。

■ 南新保C遺跡発掘調査の概要

南新保C遺跡の発掘調査は別図に示した9区～11区にて実施し、①弥生時代中期から古墳時代前期、②奈良・平安時代、③鎌倉・室町時代の遺構と遺物が確認されたが、その主体となるのは①である。

【南新保C遺跡9区】

南新保C遺跡10区と南新保三枚田遺跡2区に接する調査区である。他地区に比して遺構密度が高く、特に平地式住居跡3棟、掘立柱建物跡12棟（うち布堀建物2棟）と他の調査区より建物跡が多く検出された調査区である。それに伴いピットや土坑、溝などの遺構も多く検出された。建物跡を形成する柱穴からは柱痕や柱根を伴うもののほか、柱穴の底部から礎板や腕木などの木製品が出土したものも見られる。検出された溝のうち、奈良・平安時代の遺物が出土する溝SD9004は本調査区の南側に接する南新保三枚田遺跡2区から連続する同一遺構であり、覆土は砂が主体となる。また、径約2mを測る円形溝SD9014は稲を短期間保存する施設の痕跡である可能性が指摘されている。本調査区は建物跡の検出が相次いだ一方、方形周溝墓は全く検出されていない。方形周溝墓が数多く検出された南新保C遺跡10区や南新保三枚田遺跡3区が墓域であるのに対し、本調査区は居住域であったと考えるのが妥当であり、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土地利用の様相が示されている。

【南新保C遺跡10区】

南新保三枚田遺跡3区の北側に隣接。9区と同様に遺構密度は高く、方形周溝墓2基、平地式建物跡2棟、掘立柱建物跡2棟（うち布堀建物1棟）のほか土坑・ピット多数が検出されており、そのほとんどから弥生時代後期から古墳時代前期の遺物を検出している。溝も複数検出されており、うちSD10020、SD10001、SD10002は南新保三枚田遺跡3区から連続する同一遺構で、弥生時代後期から古

墳時代前期の土器や木製品が多数出土している。これらの溝は北西方向にほぼ直線的に延びており、調査区北西端で近代河川跡に切られている。方形周溝墓は2期検出されており、南新保三枚田遺跡3区から連続する墓域の様相を見せる。一方で掘立柱建物のうち1棟が方形周溝墓を切る形で検出されており、ある時期を境に墓域から居住域への変遷が想定される。調査区北端では半円形に廻る溝が複数検出されており、その内側から複数の柱穴も確認されているため平地式建物の周溝であると考えられるが、柱穴の配置が不規則で建物プランの判断には熟慮を要する。掘立柱建物跡のうち1棟は筋状の溝の堀方内に隅丸方形または円形の柱穴を掘って柱を据える布堀建物であり、全ての柱穴内に礎板が残存する。

【南新保C遺跡 11区】

南新保三枚田遺跡4区の北側に隣接し、方形周溝墓4基、掘立柱建物跡1棟、土坑、溝、ピットを検出しているが、2区及び3区に比して遺構密度は薄い。弥生時代中期から古墳時代前期及び鎌倉・室町時代の2時期の遺構と遺物を確認しているが、その主体は前者である。方形周溝墓は周溝が全周するもの、周溝の二隅を掘り残すもの、周溝の四隅を掘り残すもの、が確認され、一部に周溝を共有する箇所も見られる。掘立柱建物跡は桁行6間×梁行4間、床面積約128.2mの大型総柱建物で、一部の柱穴には柱根が残存する。遺構の時期を明確に特定し得る遺物の出土は見られなかったが、柱穴の大きさや建物規模から中世の建物跡と判断している。

【別図】 調査区位置図





9区 調査区全景（上が北）



9区 SB9005 柱根検出状況



9区 SB9008 腕木出土状況



10区 調査区全景（上が北）



10区 SB10001 礎板出土状況



10区 SD10020



11区 調査区全景（上が北）



10区 方形周溝墓 (SZ11003)



11区 柱穴 (P11164) 土層断面

3. 南新保D遺跡【南新保遺跡群】

〈遺跡番号 県：1288 市：148Y・K〉

所在地：金沢市南新保町地内

北緯 36° 35′ 46″

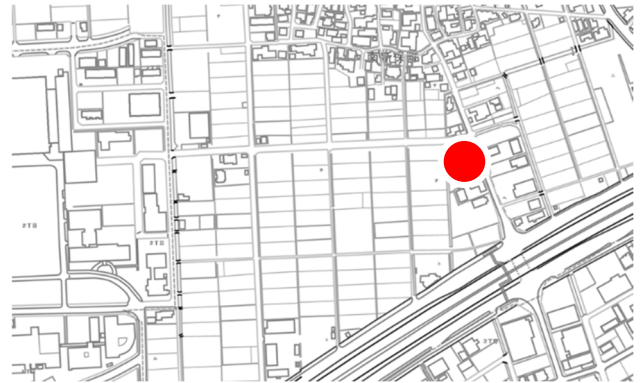
東経 136° 38′ 10″

調査面積：900 m²

種別：集落跡

主な時代：弥生、古墳時代

担当：谷口 明伸、鏡 百恵



■ 遺跡の概要

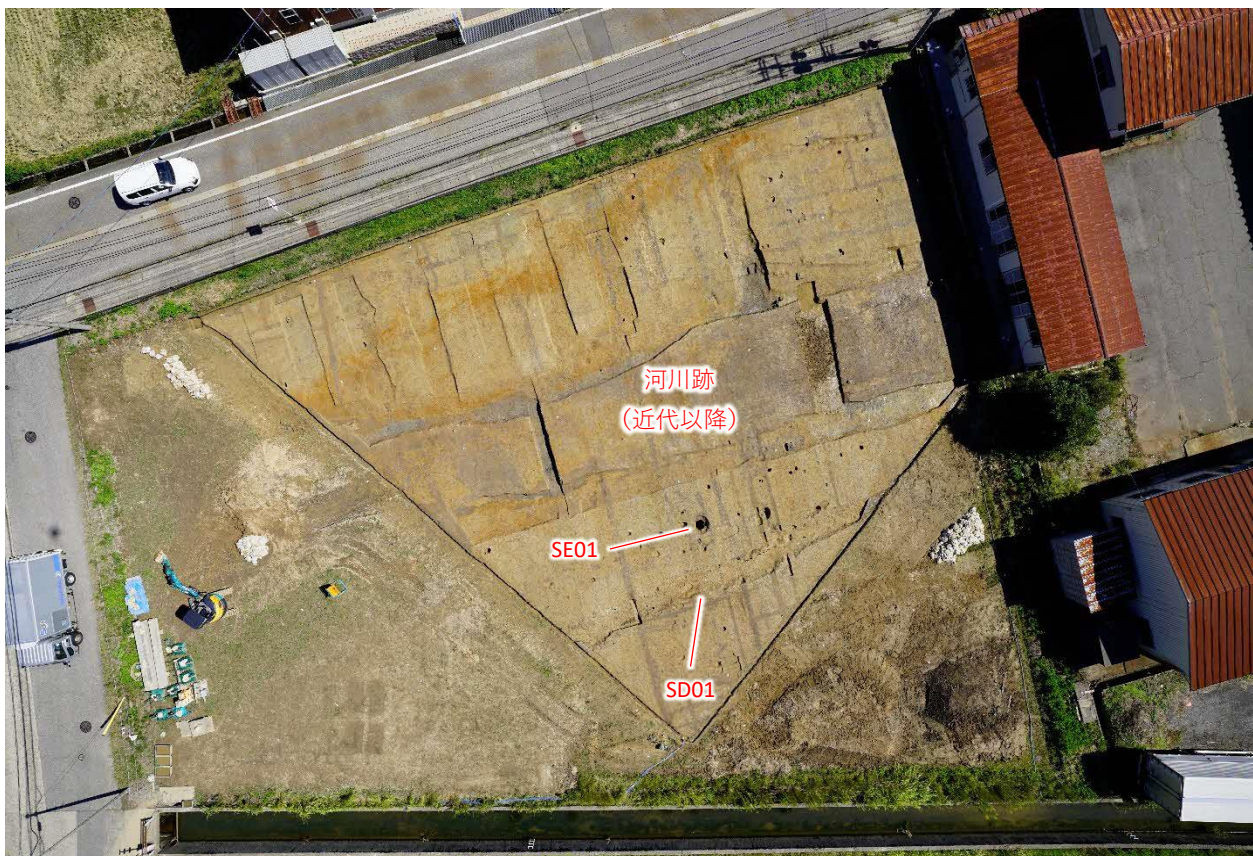
本遺跡は南新保C遺跡と同様に、金沢市南新保土地区画整理事業地内で実施した発掘調査である(南新保C遺跡の項を参照)。

過去においては、同区画整理事業地内において令和2年度に発掘調査が行われたほか、さらに以前には国道8号線付近において県教育委員会により第1次(昭和49年)、市教育委員会により第2次(昭和54年)、第3次(昭和56年)、第4次(昭和62年)、第5次(平成元年)の発掘調査が行われている。

令和4年度の発掘調査区は同2年度調査区に隣接し、井戸1基、溝6条、ピット多数を検出したほか、耕作時の排水溝跡や近代以降の自然流路と見られる最大幅7mの河川跡を確認している。この河川跡を境界に、東側には近代以降の排水溝跡や攪乱が多く見られ、これらの影響により遺構や遺物の分布はほとんど確認されていない。一方河川跡の西側には過年度に検出された溝跡SD01の延長や井戸跡、ピットなどが検出された。とはいえ調査区全体で見ると遺構密度は希薄であり、遺構の上面が削られて底面のみが残存するような検出状況であるため、過去の開墾等により遺跡全体が大きな削平を受けた状態であると考えられる。

溝跡SD01は幅約1.5m、深さ約0.2mの規模があり、調査区を北から南にほぼ直線的に横断する。令和2年度調査での検出状況と同様、溝の底面から弥生時代終末から古墳時代前期にかけての遺物が大量に出土するがそのほとんどは小片・細片であり、不要となった土器を投棄したものと考えられる。覆土には砂層などの水流を示す痕跡は見られず、過去の第2次・第3次調査で検出された溝群とは異なる様相を見せている。

井戸跡SE01は直径約1.2mの平面円形、深さ約1.1mで湧水層に達する。検出時点では側板や取水施設等の痕跡は確認されなかったが、上述のとおり削平を受けている可能性もある。覆土より弥生時代終末から古墳時代前期の遺物が出土している。



調査区全景 (左が北)



SE01断面



SE01断面



SD01遺物出土状況



SD01完掘

4. 南新保三枚田遺跡【南新保遺跡群】

〈遺跡番号 県：1287 市：146Y・H〉

所在地：金沢市南新保町地内

北緯 36° 35′ 43″

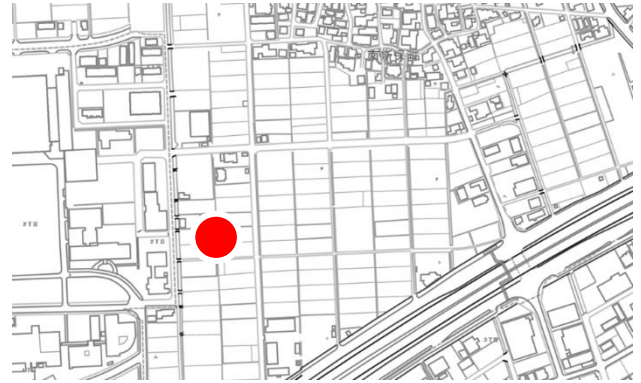
東経 136° 37′ 58″

調査面積：5,900 m²

種別：集落跡

主な時代：弥生～室町時代

担当：谷口 明伸、鏡 百恵



■ 遺跡の概要

本遺跡は南新保C遺跡と同様に、金沢市南新保土地区画整理事業地内で実施した発掘調査である（南新保C遺跡の項を参照）。過去においては、同区画整理事業地内において令和2年度に発掘調査が行われたほか、昭和56・57年度に道路改良工事に伴う発掘調査が市教育委員会により行われている。

令和4年度の南新保三枚田遺跡発掘調査は別図に示した2区～4区にて実施し、①弥生時代中期から古墳時代前期、②奈良・平安時代、③鎌倉・室町時代の遺構と遺物が確認されたが、その主体となるのは①である。

【南新保三枚田遺跡2区】

南新保C遺跡9区に南接する調査区。中央をS字状に蛇行しながら南北に流れる大型の溝SD2002を境界として、その東側は沼地状の落ち込みとなり、一方でその西側は北西に向かって微高地状の高まりを見せ、その上に土坑やピットなどの遺構が分布しつつ南新保三枚田遺跡3区や同C遺跡9・10区へと続く様相を見せており、このSD2002を境界とした集落の縁辺部という状況を呈している。検出した遺構には前記のSD2002のほか令和2年度調査で検出された河川跡の延長であるSD2001などの計14条の溝、掘立柱建物跡3棟、土坑26基、ピット多数を検出している。本調査区は他の調査区と比して面積に対する溝の割合が高い傾向にある。これらのうち土坑SK2003及びSK2005はともに直径約2m、深さ約1.5mを測り、両者とも堀方の底面は隅丸方形で、覆土からは土器とともに大量の木製品が出土しており、様相・形態ともに類似する。SK2005の底面近くからはほぼ完形の甕2点が出土しており、その他の遺物から両者とも弥生時代終末から古墳時代前期の遺構と考えられる。その他、奈良・平安時代の溝SD2004からは「伴」「三野」墨書須恵器坏などの遺物が出土している。特に前者は坏内面に墨書する希有な資料である。

【南新保三枚田遺跡3区】

南新保C遺跡10区に南接する調査区。中央を西に湾曲しながら南北に流れる大型溝SD3020を境界として、その東側には方形周溝墓や掘立柱建物跡を含む多数の遺構が検出されるが、西側は極端に遺構密度が低くなる。SD3020と2区SD2002との間が微高地状になってその上にこれら遺構が構築されたと見ることができる。SD3020は幅2m以上、断面は椀型で覆土のうち上層には植物遺体が多く含まれ、下層にはヤマトシジミを主体とした貝片を含む層が確認できる。遺物は全層から弥生時代終末から古墳時代前期にかけての土器が出土し、一木梯子や木製容器、机状木製品、鍬、桶などの木製品が良好な状態で出土している。また、本調査区で確認された方形周溝墓は4基あり、周溝が全周するものと二隅を掘り残すものの2種類が確認できる。

【南新保三枚田遺跡4区】

南新保C遺跡11区に南接する調査区。遺構密度は低く平地式建物跡1棟、土坑22基、溝16条、ピットなどを検出しているが、大部分は近世以降の遺構と見られ、特に調査区西側を北西から南東方向に延びる近代河川跡を境界としてその西側には遺構・遺物ともにその量は希薄である。検出遺構のうち平地式建物跡は不揃いな土坑状の溝が連続する周溝とその内部に松菊里型建物の柱穴配置を持つ特異な形状を呈しており、出土遺物から弥生時代中期の廃絶と考えられる。土坑は大部分が弥生時代中期から終末期のものであるが、平面円形・断面箱形の土坑SK4021からは鎌倉・室町期の陶器類と木槌、箸、網代などの木製品が出土している。南新保C遺跡11区で検出された総柱建物跡と併せ、中世期においても本遺跡周辺では人々の生活が営まれていたことが示される。

【別図】調査区位置図

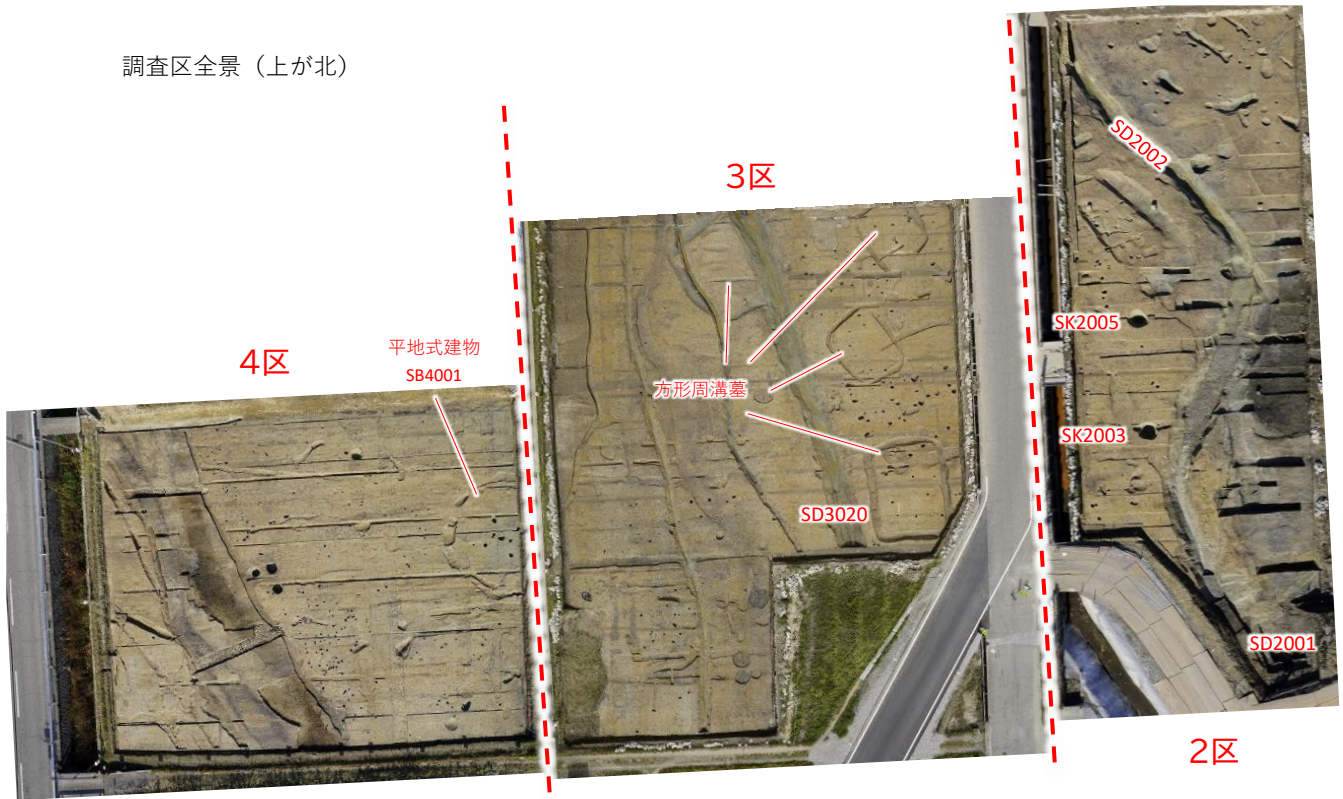


SD3020 出土 机状木製品



SD2004 出土 「伴」墨書土器

調査区全景（上が北）



2区 SD2002



2区 SD2003 遺物出土状況



2区 SK2003 遺物出土状況（上層）



2区 SK2003 遺物出土状況（下層）



2区 SK2005 土層断面



2区 SK2005 遺物出土狀況 (下層)



3区 SD3020 一木梯子出土狀況



3区 SD3024 遺物出土狀況



4区 平地式建物跡 (SB4001)



4区 SB4001周溝 遺物出土狀況



4区 SK4009 遺物出土狀況



4区 SK4019

5. 金沢城下町遺跡（尾張町1丁目9番地点）

（遺跡番号 新発見のためなし）

所在地：金沢市尾張町1丁目地内

北緯 36° 34′ 15″

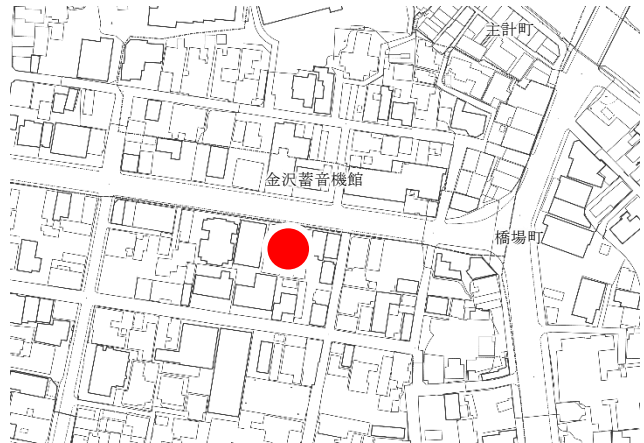
東経 136° 39′ 45″

調査面積：94 m²

種別：城下町

主な時代：江戸

担当：須貝 杏奈



■ 調査の目的

金沢城下町遺跡（尾張町1丁目9番地点）は宿泊施設建設に先立ち実施した。調査区は橋場交差点から西に約110m、国道159号線の南側、東内惣構の西側に位置しており、江戸時代においては街道沿いの町人地の一角であった。

発掘調査では南側の調査区をA区、北側の調査区をB区とした。A区では土坑など4基、集石2基、溝1基、井戸1基、石列2基、建物基礎跡1基、礎石・柱根5基の計16基の遺構を検出した。また、B区では土坑など10基、石列1基、礎石10基の計21基の遺構を検出した。

A区は現地表（標高19.0m付近）から約0.8mまでが現代の整地面で、その下約0.5mに江戸時代の遺構面が展開し、標高18.2m～17.7m付近で地山となる。ここからは調査区外へと延びる東西約2.5m、南北約2mの方形石組が検出されている。石組の内側には直径10cm前後の丸礫が敷き詰められており、土蔵のような大型建物の基礎跡と考えられる。調査区北東で検出した土坑からは、大量の陶磁器や木製品が出土しており、不用品を廃棄したいわゆる「ゴミ穴」と推測される。北側の井戸の付近からは、一辺約17cmの角形の柱根を検出しており、柱根の下には礎石となる石も検出した。

B区は現地表（19.1m付近）から約1.1mまでが現代の整地面で、その下約0.9mに江戸時代の遺構面が展開し、標高17.6m～17.1m付近で地山となる。現地表の下約1.3m下位では厚さ10cm前後の焼土層が展開し、さらにその0.1m下から焼土層と炭層が堆積した大型土坑が検出された。土坑からは表面が被熱した18世紀の陶磁器が出土しているため、宝暦の大火（宝暦9年）の片づけ穴と見られる。また、調査区の北側からは礎石とみられる礫を多く検出しているが、調査範囲の制約等により建物規模の特定には至らなかった。

調査区は文化8年（1811）の『金沢町絵図』・『金沢町名帳』によると、煎茶商の越中屋、米中買の伊勢屋、縫物・道具屋の丸屋、きせる細工の井波屋などが立ち並ぶ地帯となる。A区南側で検出された石列は、敷地境など何らかの区画を形成していたと考えられる。

本調査により、町屋での空間構成の一端をうかがうことができた。今後の屋内整理の実施によって遺物の年代が確定し、それに伴って遺構の変遷が判明することで、当時の生活を解明する一助となることが期待される。



A区全景



B区全景



A区 建物基礎跡(北から)



A区 石列(東から)



A区 柱根(東から)



B区 大型土坑(写真右が北)



B区 大型土坑土層断面(東から)



B区 礎石(東から)



『寛文七年金沢図』(石川県立図書館蔵)における調査地(推定)

A. 金沢城下町遺跡（西外惣構跡宮内橋西地点）

〈遺跡番号 新規発見のためなし〉

所在地：金沢市広坂1丁目地内

北緯 36° 33′ 37″

東経 136° 39′ 24″

調査面積：5 m²

種別：城下町・惣構跡

主な時代：江戸時代

担当：庄田 知充



■ 遺跡の概要

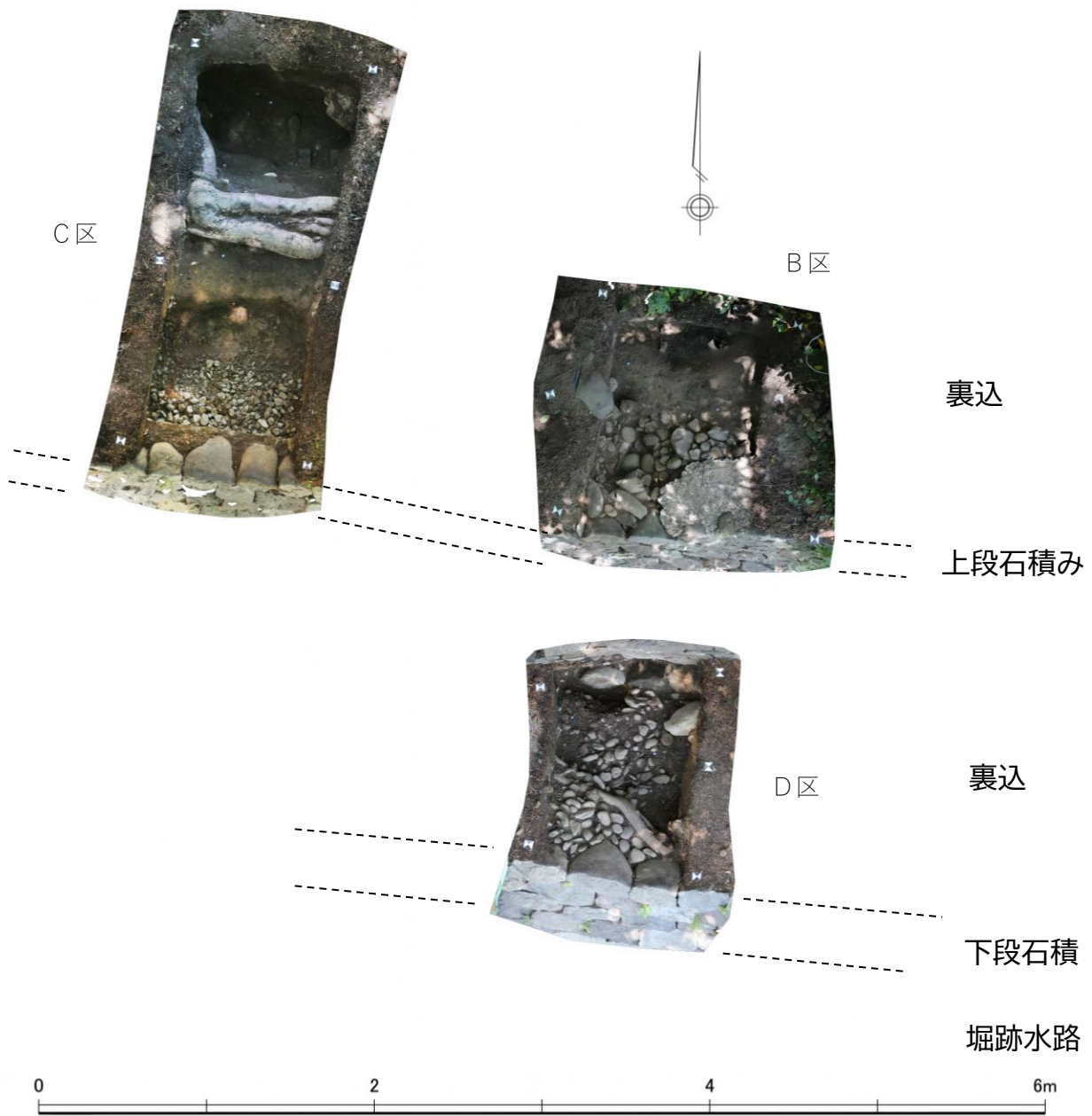
金沢城下町遺跡（西外惣構跡宮内橋西地点）では、市史跡金沢城惣構跡において堀跡の水路土居側石積みが経年変化により変形して崩落のおそれが生じたため、宮内橋横西惣構跡修繕工事（文化スポーツ局歴史都市推進課施工）が計画された。当該修繕工事では石積みの解体修理を伴うため、市史跡への影響範囲を確定し工事範囲や工法を策定することを目的とした発掘調査を実施した。本地点において水路土居側の石積みは二段築造の副断面となっており下段石積みは高さ約 2m、上段石積みは高さ約 2.2mを測る。

解体修理に先立ち事前に幅約 1mの試掘坑 3 箇所(面積計 5 m²)を掘削し、石積みおよび石積み裏込の構造・規模・形状および遺構の年代を確認した。また、石積みの解体修理にあたっては変形した石積みの裏込の状態や石積み背面における惣構土居遺構の状態について確認することも目的とした。

A区は上・下段石積み間の小段に設けた幅約 1mの試掘坑で、断面図位置では下段石積み上端の石面から上段石積み下端の石面までの小段の幅は約 1.2mだった。地表から約 20 cm掘り下げたところで上段石積みの真下に、現在の下段石積みの背後に埋没した旧下段石積みの上端が検出された。旧下段石積みと現下段石積みの間隙は表層から約 30 cm掘り下げたところでこぶし大の裏込め石により充填されていた。検出面までの出土品は近代のもので、この区間の現下段石積みは近代以降に構築されたものと考えられる。背面に埋没していた石積みについての年代は不詳である。

B区は上段石積みの上面に設けた試掘坑のうち、東(上流)側のもので、調査区1の北側延長線上に設定し、石積みの背面に奥行き約 90 cm幅で裏込石層を確認した。検出面までの出土遺物は近現代のものであった。この区間の石積みには下部はコンクリートを使用しない空積みだが、上部に金沢 21 世紀美術館建設時に道路拡張した際にコンクリートを使用して練り積りで積み直した範囲がある。

C区は上段石積みの上面に設けた試掘坑のうち、西(下流)側のものである。この区間の石積みは下部が空積みだが上部は石積み背面に型枠コンクリートを充てた練り積みになっている。検出面までの遺物は近代のものであった。





金沢城下町遺跡(西外惣構跡宮内橋西地点) 全体写真



A区(下段石積裏込と背後の埋没石積)



B区(上段石積裏込と近代盛土)



C区(上段石積改修部裏込と近代盛土)

B. 涌波遺跡（辰巳用水中流部管理通路石垣）

〈遺跡番号 新規発見のためなし〉

所在地：金沢市涌波町地内

北緯 36° 53′ 01″

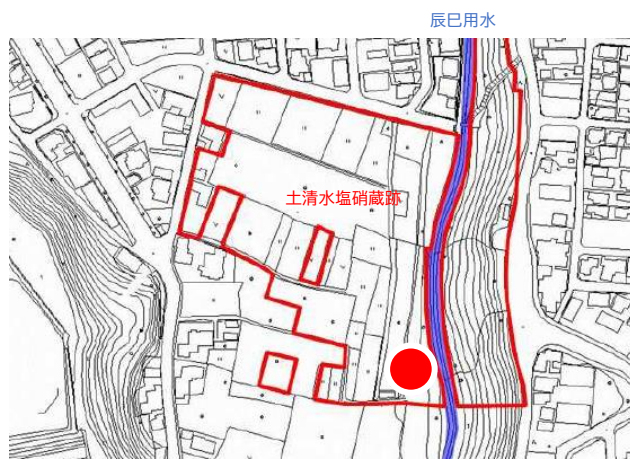
東経 136° 68′ 90″

調査面積：25 m²

種別：用水

主な時代：江戸時代

担当：庄田 知充



■ 遺跡の概要

涌波遺跡（辰巳用水中流部管理通路石垣）では、国史跡辰巳用水附土清水塩硝蔵跡範囲内における辰巳用水管理通路法面に構築された石垣が経年劣化により崩壊して修理が必要な状態となったため、令和5年度に予定されている石垣の修理に先立ち、発掘調査により石垣の形状や裏込めの状態を明らかにし、三次元レーザー測量により現状の石垣の形状を記録保存した。

調査地は辰巳用水東岩取水口から約6.6km下流の辰巳用水中流部にあたり、開渠として流れる用水の西に隣接して併走する管理通路西側法面に石垣が築かれている。

西側を石面とする石垣は南北方向にのびて長さ約7.5m、高さ約2mを測り、2箇所突角を設けて屈曲している。石垣は谷状の旧地形の谷部を閉塞するように築かれており、石垣下端は丘谷地形に沿って中央部が最も下がり、両端部は上がっている。石垣中央上寄りに、辰巳用水からの導水を流下するための円管状のコンクリート管が埋め込まれている。この管への導水は辰巳用水側にステンレス製の小形の水門を設けて行っている。石垣背面には石面から約1mの奥行きまでこぶし〜人頭大の裏込め石が詰められている。築石の石材は安山岩質の野石で、石面表面を割り取る調整を一律に行っている。石垣北端部では旧地形に沿って石垣下端が上がることに伴い、石垣の段数が減じている。石垣南端部では、同様に石垣下端があがって石垣段数が減じるが、隅石部分において凝灰岩製切石を算木積みしている。石垣南端の隅石前面の崩落石材の隙間から、寛永通宝1枚が出土した。



石垣中央部の築石と導水管



石垣南端部の算木積み隅石

C. 荒山城跡【加越国境城跡群及び道】

(遺跡番号 県：1405 市：284T)

所在地：金沢市荒山町・二俣町地内

北緯 36° 56′ 45″

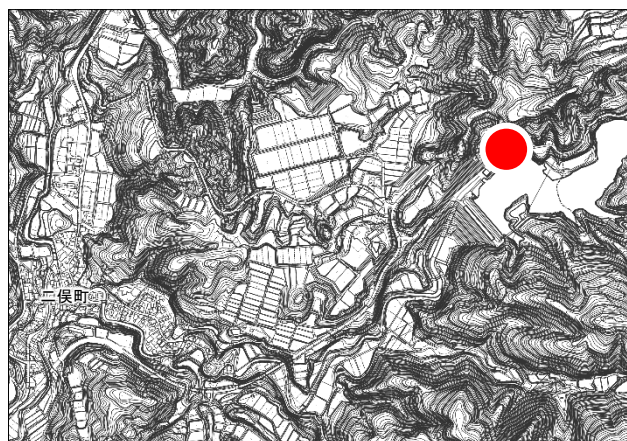
東経 136° 78′ 11″

調査面積：77 m²

種別：山城跡

主な時代：安土桃山

担当：新出 敬子



■ 調査の目的

加賀と越中の国境を舞台に繰り広げられた前田利家と佐々成政の争いの痕跡を現在に伝える「加越国境城跡群及び道 切山城跡 松根城跡 小原越」は、平成 27 年 10 月に国史跡に指定された。この史跡は、城と道を一体的に価値付けして指定された日本で最初の事例であり、極めて貴重な歴史資産であると評価されている。

加賀国と越中国を結ぶ国境の街道にはいくつもの山城が築造されていた。その歴史的背景は、織田信長亡き後の天下統一へ向け、天正 12 年（1584）、羽柴秀吉と敵対した織田信雄・徳川家康連合軍が尾張の小牧・長久手で争ったことによる。前年の賤ヶ岳合戦の後、秀吉に降伏することで越中に留まった佐々成政は、これを機に反秀吉へと方針転換し、秀吉方の前田利家と敵対した。加越国境城跡群は、この時期に築造もしくは改修された城跡群と考えられる。

加越国境には、前田方と佐々方が街道を介して対峙した状態を示す遺構として以下のものがある。

①切山城跡及び松根城跡とこれを繋ぐ小原越（平成 27 年史跡指定）

②朝日山城跡及び一乗寺城跡とこれを繋ぐ田近越

③高峠城跡及び荒山城跡とこれを繋ぐ二俣越

金沢市では、このうち②③について史跡の追加指定を目指した各種調査を行っており、令和 3 年度の高峠城跡に引き続き、令和 4 年度は荒山城跡の発掘調査を実施した。

■ 位置と環境

石川・富山県間には、白山から大門山、医王山などを経て能登半島へと続く山地が連なり、この稜線が石川県と富山県の県境、即ち加越国境となっている。このうち医王山から宝達山までの約 20 km は砺波山丘陵と呼ばれる標高 100～300m 程度の山並みが形成されており、金沢市と小矢部市の境もこの中に含まれる。

ここに加賀側の北陸道から分岐して小原越、田近越、二俣越などの脇街道が越中（富山県）側へ延び、沿道に加越国境城跡群が立地している。具体的には、田近越沿いの朝日山城跡、一乗寺城跡、二俣越沿いの高峠城跡、荒山城跡、また能登には越中につながる荒山越沿いの能登荒山城跡及び勝山城跡、加賀・能登国境の末森城跡があり、北陸道にも多くの城跡が所在している。

■ 「加越国境城跡群及び道」の歴史

織田信長亡き後の天下統一へ向け、天正 12 年（1584）、羽柴秀吉と敵対した織田信雄・徳川家康連合軍が尾張の小牧・長久手で争った。前年の賤ヶ岳合戦の後、秀吉に降伏することで越中に留まった佐々成政は、これを機に反秀吉へと方針転換し、加賀・能登を治める秀吉方の前田利家と敵対した。

小牧・長久手の合戦に関し、3月7日付の織田信張（信雄家臣）の書状では、成政が信雄方へ内通したことが喧伝されている。「奥村伝書」によると、前田方は佐々内蔵助（成政）の寝返りに対して、松根に「取出」（城）を構えたが、9月8日付の秀吉から利家宛ての返報では利家が内蔵助に「山」（城）を取られており、加越国境における戦略地点の攻防を物語っている。

松根城は小原越の最高峰に位置したことから、当初前田方が押さえたが佐々方に奪われ、前田方はそれに対抗するために約4km加賀側へ下った場所に切山城を築造したと推察される。「垂相公御夜話」によると、田近越でも佐々方と戦闘が行われ、前田方は国境から加賀側へ約3.5km入った所に朝日山城（金沢市）を築城している。

成政は8月に朝日山城を攻撃した後、9月には奥村永福が守る末森城（宝達志水町）を攻めるが、いずれも失敗する。天正13年になると、両者が国境付近への侵入を繰り返す中、しだいに前田勢が優勢になり、秀吉遠征軍の登場によって成政は降伏した。この後、越中の西半分が利家の長男利長に与えられたことで、加越国境付近の緊張状態は解消され、城郭群は不要になったと考えられる。

加越国境城跡群は、この天正12・13年に築造もしくは改修された城跡群と考えられる。

■ 荒山城跡の概要と発掘調査

荒山城跡は、金沢市荒山町・二俣町地内、標高269mの尾根頂部を中心に造成された山城である。近世の文献史料には枇杷落城や城山などの別称や、佐々成政や佐久間盛政の守城であったとの記載が見える。城跡は尾根頂部を中心に概ね南北290m・東西440mの範囲に造成されており、主郭、曲輪、堀切、虎口、櫓台、切岸で構成される平坦地と堀切が確認できる。このうち主郭は南北約20m、東西約30mの規模がある。虎口は内枳形虎口と外枳形虎口を配する。城の西側で二俣越を掌握し、加賀側に大規模な堀切を配置し、主郭に至る計画的なルートとなっている。

令和4年度の発掘調査は9月7日から10月28日まで、主郭、城西端の大堀切、曲輪、二重堀、主郭近くの土橋付近などにトレンチを6箇所設定し調査を行った。盛土の状況や堀の規模などを確認したが、遺物は出土しなかった。主郭近くの土橋東側のトレンチでは直径20cm程度の小穴2基が0.8m間隔で確認されたが、これ以外の遺構は検出されなかったため、この小穴の性格は現段階では不明と言わざるを得ない。本年度の調査成果を踏まえ、翌5年度も引き続き発掘調査を行う予定である。



城跡西端の大堀切
堀底は現地表面から1.0m下で検出



土橋東側トレンチ
盛土及び柱穴を検出



主郭トレンチ



二重堀トレンチ
堀底は現地表面から 1.0m
下で検出

D. 涌波遺跡（土清水塩硝蔵跡）

〈遺跡番号 新発見のためなし〉

所在地：金沢市涌波町地内

北緯 36° 31′ 51″

東経 136° 41′ 26″

調査面積：80 m²

種別：黒色火薬製造施設

主な時代：江戸時代

担当：須貝 杏奈



■ 遺跡の概要

史跡整備に係る発掘調査として、令和3年度の第5次調査に引き続き、搗蔵跡の調査を行った。搗蔵は黒色火薬の原材料を搗いて粉末状に加工する施設であると考えられており、「土清水製薬所絵図」には南北30間×東西5間の建物として記載されている。

第5次調査では、水路跡や石敷遺構、礎石状石材が検出されており、その位置関係から搗蔵内に水車が設置されていたことが推測されている。

今年度の発掘調査の結果、第5次調査で発見された南北方向の水路跡の延長を検出した。

検出できたのは調査区の北側のみで、南側は削平によって途切れていた。石列と石列の間の幅は約0.7mで、20～30cmの石材を平行に並べているのを確認した。

水路の西側からは、長軸約0.9m、短軸約0.7mの石敷の遺構を検出した。上面の高さをそろえる処理を施してあり、第5次調査で検出した石敷遺構と類似する。位置も水路に近いので、軸受けなどの水車の基礎構造の可能性が考えられる。

調査区の北側中央付近からは、円形石敷遺構が検出された。長軸1.4m、短軸約1.2mの楕円形の石敷の中に、直径約0.7mの穴があく。搗臼を設置する土台などの水車設備の可能性が考えられる。

調査区の南端からは、第5次調査で見つかった搗蔵西端部分の延長を確認した。幅約0.4m、深さ約5cmの南北に延びる浅い溝で、南側の溝が途切れる部分が搗蔵の南端を示すと考えられる。

今回の調査では、水車との関連が指摘できる遺構が確認できた。しかし水車の規模などの具体像の把握には未だ至っていないため、今後は過去の調査成果と照らし合わせて位置や構造などを検討していく必要がある。



調査区 全景（北西から）



調査区 全景（北東から）



水路跡（北から）



石敷遺構（北から）



円形石敷遺構（北から）



集石遺構（南から）



搗蔵西端溝（北から）



集石遺構群（西から）

2. 埋蔵文化財分布調査事業

(1) 令和4年度埋蔵文化財分布調査の概要

金沢市では、公共事業に関する土木工事や建設工事等および民間の開発行為や農地転用の際に、金沢市遺跡地図に基づき図面調査及び現地での踏査・試掘調査を実施し、開発事業着手前に埋蔵文化財の有無を確認している。

令和4年度は金沢市施工の公共事業16件、民間の開発事業・農地転用等119件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。

なお、平成23年度より、開発事業に伴う試掘確認調査については国庫及び県費補助事業にて実施しており、令和4年度の事業費は4,288千円であった。

このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、文化財保護法第93条（民間業者や個人）及び第94条（工事主体が金沢市）に基づく慎重工事及び工事立会での対応となったものは23件、発掘調査での対応となったものは7件で、別表のとおりであった。

公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	事 業 名	担 当 課	回 答 日	面 積	調 査 方 法	有 無	対 応 (遺 跡 名)
1	出雲町イ地内	都市計画街路事業 北安江出雲線	道路建設課	7月7日	84,000.㎡	試掘	無	支障なし
2	西念4丁目7-1(中央卸売市場内)	中央卸売市場再整備	中央卸売市場事務局	7月13日	91,000.㎡	試掘	有	協議中 (西念クボ遺跡・二口六丁A遺跡)
3	小将町1-15(小将町中学校内)	プール建設	教育総務課	8月16日	537.74㎡	試掘	有	発掘調査 (金沢城下町遺跡)
4	小立野5丁目11-1(金沢美術工芸大学内)	金沢美術工芸大学キャンパス解体	金沢美術工芸大学建設事務局	8月19日	44,000.㎡	試掘	有	発掘調査・再試掘 (経王寺遺跡)
5	大浦町ル66-1 外5筆	都市基盤河川 大宮川改修	内水整備課	10月12日	4,400.㎡	試掘	無	支障なし
6	大桑町カ355	市有地売り払い整備	総務課	10月26日	180.97㎡	試掘	無	支障なし
7	末町132-3・132-4	市有地売り払い整備	総務課	10月26日	491.2㎡	試掘	無	支障なし
8	末町13字52-58、14字5-29	市有地売り払い整備	総務課	10月26日	303.2㎡	試掘	無	支障なし
9	平和町2丁目8-7	平和町児童館建設	子育て支援課	11月15日	434.34㎡	試掘	無	支障なし
10	尾張町2丁目、袋町地内	ふくろう通り電線共同溝整備工事	道路建設課	12月7日	300.㎡	試掘	有	立会調査 (金沢城下町遺跡)
11	塚崎町ハ85 他(森本こどもグラウンド内)	市立保育所再整備	保育幼稚園課	12月21日	2,000.㎡	試掘	無	支障なし (南森本塚崎遺跡)
12	神谷内町ハ21-3・22-7・16-10・1-4	市有地売り払い整備	総務課	1月10日	430.48㎡	試掘	無	支障なし
13	みどり1丁目180	緑住宅建設工事第5期	総務課	1月13日	3,000.㎡	試掘	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)
14	泉野町4丁目55(いずみ野第一児童公園内)	四阿新築・遊具新設更新・舗装	緑と花の課	2月3日	900.㎡	試掘	無	支障なし
15	米泉6丁目5-4・6・7-1 他	泉野々市線道路築造	道路建設課	3月22日	15,690㎡の一部	試掘	無	支障なし
16	押野1丁目17-6・19-7・20 他	泉野々市線道路築造	道路建設課	3月29日	15,690㎡の一部	試掘	無	支障なし

民間の開発行為に係る埋蔵文化財確認調査一覧

ID	場 所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	北安江1丁目1306~1310・1321・1322・1424・1425	共同住宅建設	4月1日	4月6日	2,593.51㎡	試掘	無	支障なし
2	窪1丁目54-1	住宅建設	4月4日	4月8日	329.9㎡	試掘	無	支障なし (高尾城跡)
3	窪1丁目54-2	住宅建設	4月4日	4月8日	329.94㎡	試掘	無	支障なし (高尾城跡)
4	瓢箪町830-8	住宅建設	4月2日	4月8日	160.7㎡	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
5	元菊町219・220-3	共同住宅建設	4月6日	4月14日	753.83㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
6	黒田2丁目240-5	住宅建設	4月11日	4月14日	179.㎡	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
7	神谷内町ニ111~120 他2筆	店舗建設	4月11日	4月27日	9,693.56㎡	試掘	無	支障なし
8	小将町97-1	住宅建設	4月28日	5月12日	125.36㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
9	彦三町1丁目595・596	宅地造成	5月10日	5月16日	83.36㎡	試掘	有	未定 (金沢城下町遺跡)
10	北塚町東72	駐車場建設	5月10日	5月16日	481.㎡	試掘	無	支障なし (北塚町遺跡)
11	武蔵町522・523	住宅建設	3月7日	5月24日	116.01㎡	試掘	有	未定 (金沢城下町遺跡)
12	若宮2丁目260	共同住宅建設	5月13日	5月24日	560.㎡	試掘	無	支障なし (若宮遺跡)
13	涌波1丁目118	宅地造成	5月13日	5月25日	529.㎡	試掘	無	支障なし (涌波遺跡)
14	八日市5丁目426	宅地・駐車場造成	5月17日	5月26日	554.㎡	試掘	無	支障なし (八日市サカイマツ遺跡)
15	近岡町774-1	倉庫建設	5月13日	5月26日	685.79㎡	試掘	有	未定 (近岡遺跡)
16	花里町87	住宅建設	5月20日	6月1日	284.89㎡	試掘	無	支障なし (大桑橋遺跡)
17	金石西1丁目2-10	事務所建設	5月23日	6月1日	2,804.24㎡	試掘	無	支障なし
18	水瀬町16付近	森林作業道開設	6月3日	6月3日	20,000.㎡	踏査	無	支障なし (水瀬城跡)
19	西市瀬町ソ47付近	森林作業道開設	6月3日	6月3日	30,000.㎡	踏査	無	支障なし (藤巣城跡)
20	笠舞1丁目339	不動産調査	5月30日	6月7日	164.56㎡	試掘	有	未定 (笠舞A遺跡)
21	大浦町ハ57・北寺町ホ82-1・東敷爪町ロ91 他	事業地拡張	5月23日	6月10日	14,357.3㎡	試掘	無	支障なし
22	涌波1丁目143-1	住宅建設	6月6日	6月13日	214.7㎡	試掘	無	支障なし (涌波遺跡)
23	尾張町1丁目9-14	ホテル建設	6月1日	6月13日	199.33㎡	試掘	有	発掘調査 (金沢城下町遺跡)
24	泉本町4丁目27-1・28-1・36・37	寄宿舎建設	6月9日	6月14日	1,326.22㎡	試掘	無	支障なし
25	西金沢4丁目553~560	事務所新築	6月3日	6月14日	2,220.35㎡	試掘	無	支障なし
26	米泉町4丁目1-37・1-38・26-3	宅地分譲	6月10日	6月17日	2,683.97㎡	試掘	無	支障なし
27	桜町218~221・222-2	幼保連携型認定こども園 建替え	6月7日	6月17日	1,095.79㎡	試掘	無	支障なし
28	瓢箪町92-2	駐車場改装	6月8日	6月24日	73.63㎡	試掘	無	支障なし (有松D遺跡)
29	菅池町ヘ27-1付近・ト30-1付近	森林作業道開設	6月3日	6月28日	70,000.㎡	試掘	無	支障なし (菅池A遺跡・菅池B遺跡)
30	広岡2丁目904・905	住宅建設	6月15日	7月4日	1,264.81㎡	試掘	無	支障なし
31	百坂町ロ45-20・46-9	住宅建設	6月29日	7月4日	172.11㎡	試掘	無	支障なし (百坂C遺跡)
32	久安6丁目194・195・196-1・196-3・230-1・231・232・金沢市所管の法定外公共物の一部	宅地造成	6月30日	7月11日	2,492.11㎡	試掘	無	支障なし
33	四十万町北カ123	住宅建設	7月1日	7月11日	232.㎡	試掘	無	支障なし (四十万B遺跡)

ID	場 所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
34	高尾町子9-1・10-1・13-1・13-2・14	店舗建設	7月5日	7月12日	266.㎡	試掘	無	支障なし (高尾C遺跡)
35	黒田1丁目52-2	住宅建設	7月11日	7月14日	196.43㎡	試掘	無	支障なし (黒田B遺跡)
36	今町ホ14-2・ヘ111-3	住宅建設	7月11日	7月20日	330.㎡	試掘	無	支障なし (今町御所野遺跡付近)
37	有松4丁目2-1	店舗建設	7月22日	7月29日	1,977.17㎡	試掘	無	支障なし (有松D遺跡)
38	古府町南626	住宅建替	5月12日	8月2日	253.㎡	試掘	無	支障なし (古府遺跡)
39	瓢箪町854	共同住宅建設	7月19日	8月2日	232.21㎡	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
40	彦三町1丁目54	店舗建設	7月29日	8月3日	76.03㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
41	小坂町西123・125	店舗建設	7月28日	8月3日	1,151.㎡	試掘	無	支障なし
42	上安原町584-1 他7筆	宅地造成	7月19日	8月4日	3,093.66㎡	試掘	無	支障なし
43	高晶2丁目158-4	土地調査	7月19日	8月5日	168.55㎡	試掘	無	支障なし (高晶遺跡)
44	二宮町404・409	住宅建設	7月20日	8月5日	115.28㎡	試掘	無	支障なし (二口六丁A遺跡)
45	彦三町1丁目463	住宅建設	6月21日	8月9日	234.54㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
46	窪4丁目82-1・83~85	住宅建設	7月29日	8月9日	1,383.09㎡	試掘	無	支障なし
47	涌波一丁目250~252	住宅建設	8月5日	8月9日	776.㎡	試掘	無	支障なし
48	四十万3丁目433-2・544-2	住宅建設	7月26日	8月23日	131.1㎡	試掘	有	未定 (三十刈遺跡)
49	兼六元町56-1・78	有料老人ホーム建設	8月8日	8月23日	2,185.31㎡	試掘	有	未定 (金沢城下町遺跡)
50	泉が丘1丁目30・31-3・32-2	共同住宅建設	8月17日	8月23日	1,171.㎡	試掘	無	支障なし
51	金沢市みどり1丁目100	住宅建設	8月22日	8月23日	136.94㎡	試掘	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)
52	大浦町ハ60-1・61-1他	隣地開発による一時転用	5月23日	8月29日	11,553㎡の一部	試掘	無	支障なし(21と関連)
53	松村7丁目78-1	住宅建設	8月22日	8月30日	171.07㎡	試掘	無	支障なし (松村A遺跡)
54	額谷町ワ29-1	住宅建設	8月22日	9月5日	473.45㎡	試掘	無	支障なし (額谷遺跡)
55	兼六元町555・556	住宅建設	8月25日	9月5日	131.66㎡	試掘	有	未定 (金沢城下町遺跡)
56	主計町3-2	駐車場整備	8月24日	9月14日	494.09㎡	試掘	有	未定 (金沢城下町遺跡)
57	入江2丁目106~109・123	住宅建設	9月2日	9月16日	1,045.㎡	試掘	無	支障なし
58	神野2丁目12・16	宅地造成	6月14日	9月22日	914.㎡	試掘	無	支障なし (神野遺跡)
59	御供田町ロ86-1 外5筆	住宅建設	9月20日	9月22日	2,285.㎡	試掘	無	支障なし
60	玉鉾2丁目375-1	事務所・倉庫建設	7月13日	9月26日	2,612.5㎡	試掘	無	支障なし
61	尾山町270	住宅建設	8月22日	9月26日	387.46㎡	試掘	有	未定 (金沢城下町遺跡)
62	涌波1丁目293 他8筆	店舗建設	8月30日	9月28日	2,437.35㎡	試掘	無	支障なし
63	みどり1丁目195	郵便ポスト更改	9月13日	9月28日	1.㎡	立会	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)
64	小坂町北224・223-2	宅地造成	9月16日	9月29日	345.73㎡	試掘	有	未定 (小坂北遺跡)
65	高尾町ル5	宅地造成	9月7日	10月3日	279.2㎡	試掘	無	支障なし (高尾遺跡)
66	高晶2丁目136-2	住宅建設	9月26日	10月3日	137.76㎡	試掘	有	工事立会 (高晶遺跡)
67	岩出町ロ17~ロ19・ロ20-1・ロ21・ロ22・ロ26・ロ27-1	農産加工場建設	9月28日	10月5日	3,662㎡の一部	試掘	有	未定 (岩出うつぼ遺跡)

ID	場 所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
68	近岡町308～313	事務所建設	9月30日	10月11日	3,958.37 m ²	試掘	無	支障なし
69	古府町南528	住宅建設	9月7日	10月13日	191.59 m ²	試掘	無	支障なし (古府遺跡)
70	七曲町ハ132-1・ハ133-2・前14・前15・前91・川50	簡易宿所建設	10月5日	10月13日	1,080.4 m ²	試掘	無	支障なし
71	寺地2丁目18	住宅建設	10月12日	10月19日	373. m ²	試掘	無	支障なし (有松C遺跡)
72	兼六元町56-1・78	有料老人ホーム建設	8月8日	10月20日	2,185.31 m ²	試掘	有	未定 (金沢城下町遺跡)
73	香林坊2丁目298	売買	10月25日	10月27日	323.5 m ²	試掘	有	未定 (金沢城下町遺跡)
74	諸江町3706～3709・3716～3718	共同住宅新築工事	10月24日	10月28日	2,340.6 m ²	試掘	無	支障なし
75	みどり3丁目6・7-1・7-2・8-2	不動産活用考査	10月28日	11月9日	1,454.94 m ²	試掘	無	支障なし (緑団地下水処理場遺跡)
76	黒田2丁目373-1 他6筆	倉庫荷捌場建設	11月7日	11月10日	(3436.27m ² の一部)	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
77	高島2丁目158-2	住宅建設	11月7日	11月10日	231.4 m ²	試掘	無	支障なし (高島遺跡)
78	金石本町53・49-1・49-5	幼稚園建設	11月7日	11月14日	354.6 m ²	試掘	無	支障なし (寺中御台場遺跡)
79	高岡町262・263	住宅建設	11月7日	11月14日	112.78 m ²	試掘	有	未定 (金沢城下町遺跡)
80	香林坊2丁目10-1	宅地造成	10月31日	11月15日	370. m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
81	野田町チ115・チ116・チ128・チ201・チ202・チ206・チ129-1・チ130-1	店舗建設	11月14日	11月24日	2,748.17 m ²	試掘	有	支障なし
82	東長江町を10-1・を11・を12-1・を13-1	農地転用	11月18日	11月24日	1,414. m ²	試掘	無	支障なし
83	岩出町口17、18、19、20-1、21、22、26、27-1	農産加工場建設	11月21日	11月25日	3,662m ² の一部	試掘	有	工事立会 (岩出つっぱ遺跡) 67と関連
84	八日市3丁目410・411・418・419	売買	11月22日	11月25日	1,384. m ²	試掘	有	未定 (八日市B遺跡)
85	寺中町へ27-2	住宅建設	11月24日	11月28日	290.92 m ²	試掘	無	支障なし
86	近岡町294-2・326-10・1161-2、・301-1	店舗建設	11月8日	12月1日	9,351.33 m ²	試掘	無	支障なし
87	本多町2丁目5-1・6	学生寮建設	11月25日	12月7日	1,865.36 m ²	試掘	無	支障なし
88	窪4丁目511	宅地造成	11月25日	12月8日	1,582.87 m ²	試掘	無	支障なし
89	笠舞1丁目178-3	住宅建設	12月1日	12月8日	208.46 m ²	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
90	南新保町139・140・147	土地区画整理	12月9日	12月9日	10,552. m ²	試掘	無	支障なし (南新保三枚田遺跡)
	一部有						発掘調査 (南新保C遺跡)	
	一部有						発掘調査 (南新保D遺跡)	
	有						発掘調査 (南新保ゴマジマ遺跡)	
91	浅野本町ホ66・67-1・68～70	工事作業用地	12月1日	12月12日	1,654. m ²	試掘	無	支障なし
92	弥生3丁目22	宅地造成	12月5日	12月12日	16,932. m ²	試掘	無	支障なし
93	山科町ワ77-1	携帯電話無線基地局コンクリート柱建柱	12月8日	12月16日	2.25 m ²	試掘	無	支障なし (山科草山遺跡)
94	西念三丁目2120	住宅建設	12月12日	12月16日	115.52 m ²	試掘	無	支障なし (西念東遺跡)
95	北安江3丁目1-38	売買	11月30日	12月26日	3,278. m ²	試掘	無	支障なし (北安江遺跡)
96	八日市5丁目309・314	宅地造成	12月13日	1月10日	519. m ²	試掘	無	支障なし
97	福久町ヲ90-1	診療所建設	1月11日	1月17日	1,087.42m ²	試掘	無	支障なし
98	福久町ヲ90-3	薬局建設	1月11日	1月17日	505.38m ²	試掘	無	支障なし

ID	場 所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
99	松村6丁目165-1	住宅建設	1月20日	1月31日	304.99m ²	試掘	無	支障なし (松村西の城遺跡)
100	尾張町2丁目9-23	カーポート設置	12月26日	2月1日	27.49m ²	立会	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
101	芳斉1丁目13	不動産売買	1月13日	2月3日	143.73 m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
102	笠舞1丁目75	住宅建設	1月23日	2月3日	145.28 m ²	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
103	高島1丁目300・301	農地転用	1月31日	2月7日	479. m ²	試掘	無	支障なし
104	米泉4丁目133-1	宅地造成・住宅建設	2月3日	2月7日	4,720.24 m ²	試掘	無	支障なし
105	押野2丁目231-5	住宅建設	1月30日	2月8日	144.35 m ²	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
106	笠舞2丁目344-1	住宅建設	2月1日	2月8日	136.35 m ²	試掘	無	支障なし (笠舞B遺跡)
107	横川2丁目82	宅地造成	2月2日	2月8日	299.46 m ²	試掘	無	支障なし (高橋セボネ遺跡)
108	泉2丁目218-1・219-1・400～405・406-1	店舗建設	1月25日	2月9日	1,223.25 m ²	試掘	無	支障なし
109	大野町4丁目ソ10-5	事務所建設	2月3日	2月9日	4,999.61 m ²	試掘	無	支障なし
110	高尾南3丁目70	事務所建設	2月13日	2月17日	1,043. m ²	試掘	無	支障なし
111	高島2丁目162-2	住宅建設	2月17日	2月22日	98.43 m ²	試掘	無	支障なし (高島遺跡)
112	四十万3丁目433-1	住宅建設	2月21日	2月24日	130.96 m ²	試掘	有	未定 (三十四遺跡)
113	兼六元町148	事務所建築	2月8日	3月2日	79.88 m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
114	八田町東3140・3141	資材置き場	2月10日	3月3日	2,331. m ²	試掘	無	支障なし
115	四十万5丁目104～109	店舗建設	2月28日	3月3日	1,465. m ²	試掘	無	支障なし
116	みどり1丁目77	不動産売買	3月14日	3月17日	204.01 m ²	試掘	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)
117	橋場町45-1・45-2	住宅建設	3月15日	3月17日	130.38 m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
118	元菊町58	不動産売買	2月22日	3月20日	169.67m ²	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
119	芳斉1丁目14	不動産売買	2月22日	3月20日	57.92m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡(長氏屋敷跡地区))

(別表)土木工事のための埋蔵文化財発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場 所	行 為 の 内 容	届出日	取 扱 通知日	面 積	遺 跡 名	対 応
1	93条(届)	尾張町1丁目65	ホテル建設	4月11日	4月11日	191.42 m ²	金沢城下町遺跡(尾張町1丁目9番地点)	発掘調査
2	93条(届)	瓢箪町830-8	個人住宅建設	4月14日	4月14日	160.7 m ²	金沢城下町遺跡(瓢箪町22番地点)	工事立会
3	94条(通知)	西念4丁目640 外46筆	卸売市場の倉庫 の増築	4月28日	4月28日	64. m ²	西念クボ遺跡	慎重工事
4	93条(届)	北町乙49・50	共同住宅建設	4月28日	4月28日	1,565.5 m ²	北町遺跡	工事立会
5	93条(届)	磯部町チ28-1	個人住宅建設	4月28日	4月28日	499.41 m ²	磯部運動公園遺跡	工事立会
6	94条(通知)	広坂1丁目3	遺跡整備	5月24日	5月24日	30. m ²	金沢城下町遺跡(西外惣構跡宮内橋西地点)	発掘調査
7	93条(届)	尾山町338	擁壁築造	5月24日	5月24日	2,188. m ²	金沢城跡	工事立会
8	94条(通知)	主計町320	防火水槽埋設	5月30日	5月30日	70. m ²	金沢城下町遺跡(主計町3番地点)	発掘調査
9	93条(届)	中屋南47・48	個人住宅建設	5月30日	5月30日	208.4 m ²	中屋東遺跡	工事立会
10	93条(届)	寺地1丁目61	個人住宅建設	6月1日	6月1日	18.12 m ²	寺地B遺跡	工事立会
11	93条(届)	矢木2丁目68-5	個人住宅建設	6月13日	6月13日	175.1 m ²	矢木ヒガシウラ遺跡	工事立会
12	94条(通知)	磯部町イ42~45 外18筆	調整池整備	6月16日	6月16日	12,640. m ²	沖町遺跡	慎重工事
13	93条(届)	直江南2丁目43-1	個人住宅建設	6月23日	6月23日	176.54 m ²	直江北遺跡	工事立会
14	93条(届)	南新保町チ4、39-1、40 外4筆	区画整理	7月12日	7月12日	5,744. m ²	南新保C遺跡	発掘調査
15	93条(届)	南新保町チ1、2、3-1 外 8筆	区画整理	7月12日	7月12日	7,464. m ²	南新保三枚田遺跡	発掘調査
16	93条(届)	南新保町ホ45~49、ト23 -1、チ112 外5筆	区画整理	7月12日	7月12日	8,151. m ²	南新保D遺跡	発掘調査
17	93条(届)	南森本町イ1-3	個人住宅建設	7月12日	7月12日	231.07 m ²	亀田大隅岳信館跡	工事立会
18	93条(届)	大友3丁目32~37	共同住宅建設	7月19日	7月19日	713.81 m ²	大友D遺跡	工事立会
19	94条(通知)	高尾町ウ20-1 外34筆	育林工事	7月22日	7月22日	2,568. m ²	高尾城跡	発掘調査
20	93条(届)	戸板5丁目145~150	医院建築	8月6日	8月6日	1,302.38 m ²	出雲じいさまだ遺跡	工事立会
21	93条(届)	戸板1丁目134-3・4	個人住宅建設	8月8日	8月8日	328.41 m ²	薬師堂遺跡	工事立会
22	93条(届)	戸板5丁目25-2	共同住宅建設	8月19日	8月19日	150.01 m ²	桜田示野中遺跡	工事立会
23	93条(届)	大友3丁目28、29	個人住宅建設	8月29日	8月29日	447.4 m ²	大友D遺跡	工事立会
24	93条(届)	南森本町ル159-11	駐車場新設	9月2日	9月2日	24.85 m ²	南森本ホリハタ遺跡	工事立会
25	93条(届)	木曳野2丁目29	個人住宅建設	9月9日	9月9日	215.16 m ²	畷田寺中遺跡	工事立会
26	93条(届)	瓢箪町854	分譲住宅建設	9月22日	9月22日	234.08 m ²	金沢城下町遺跡(瓢箪町23番地点)	工事立会
27	93条(届)	戸板5丁目25-3	個人住宅建設	10月5日	10月5日	192.24 m ²	桜田示野中遺跡	工事立会
28	93条(届)	三社町126-2、128	個人住宅建設	10月26日	10月26日	107.89 m ²	三社町遺跡	工事立会
29	93条(届)	近岡町104-1、1158	分譲住宅建設	11月7日	11月7日	633.56 m ²	大友E遺跡	工事立会
30	93条(届)	戸板5丁目144	個人住宅建設	2月15日	2月15日	337.38 m ²	桜田示野中遺跡	工事立会

3. 教育・普及・啓発活動事業

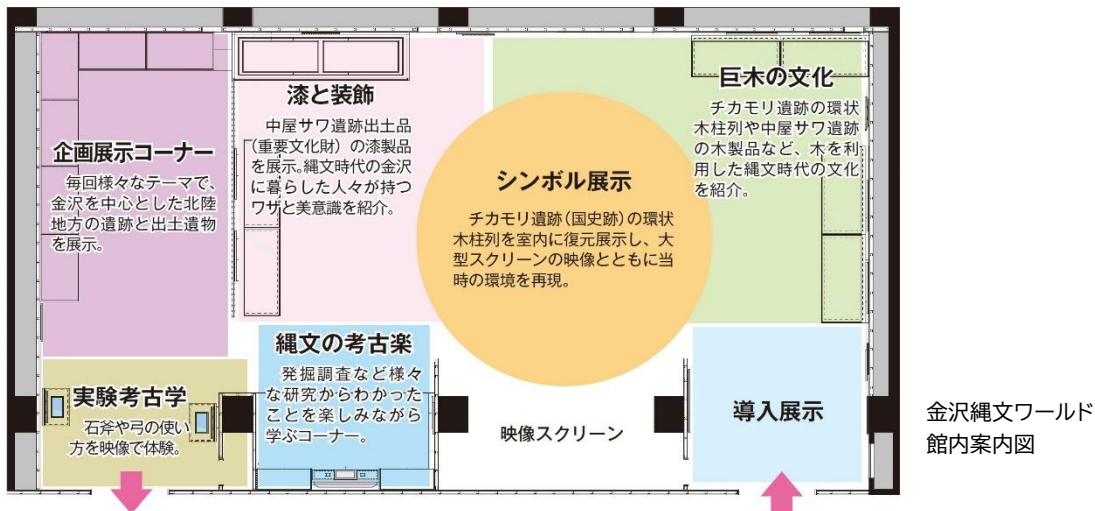
(1) 金沢縄文ワールド

① 概要

金沢市では、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」を初めとする縄文時代晩期の貴重な資料を適切に保管するとともに広く一般に展示・公開する施設として、平成 27 年度に金沢市埋蔵文化財センター内に「金沢縄文ワールド」を設置した。館内には常設展示コーナーと企画展示コーナーを設け、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」を主体に様々な視点から金沢市内の縄文時代を紹介する展示を行っているほか、勾玉作りを初めとする各種古代体験に挑戦できる縄文体験コーナーを併設している。また、重要文化財指定物件を保管する特別収蔵庫を併設し、貴重な考古資料の保存継承を図っている。

年度	入館者数
H27	1,111人
H28	3,102人
H29	3,209人
H30	3,803人
R01	3,810人
R02	2,148人
R03	1,981人
R04	2,225人

所在地	石川県金沢市上安原南 60 番地 金沢市埋蔵文化財センター内
開館時間	9 時 30 分から 17 時 00 分まで（入館は 16 時 30 分まで）
休館日	月曜日、年末年始（12/29～1/3）※月曜日が祝日の場合は開館し、その次の平日に休館
入館料	無料



② 常設展示

金沢縄文ワールドでは、貴重な考古資料を適切に保存管理しつつ、その魅力を広く公開するという基本理念のもと、以下のコンセプトによる展示を行っている。

1. 中屋サワ遺跡やチカモリ遺跡の出土品の特色及び独自性を演出する展示
2. 若年層から高齢者まで、幅広いニーズに対応できる演出
3. 「触れて、楽しみ、学ぶ」ことができる体験型展示手法の採用
4. 各種分析や実験考古学など最新の研究成果を反映した展示

常設展示では「巨木の文化」「漆と装飾」の2大テーマに基づいた展示・解説を行っているほか、金沢市内の縄文遺跡や発掘調査の流れなどが検索できる「縄文の考古楽」コーナー、ゲームを通して縄文時代の石斧や弓の使い方を体験できる「実験考古学」コーナーを併設した。

■巨木の文化

展示室中央にシンボル展示としてチカモリ遺跡の環状木柱列を室内復元し、大型スクリーンの映像とともに往時の環境を再現している。また、中屋サワ遺跡から出土した豊富な木製品を展示し、縄文時代晩期の優れた木工技術を紹介している。



シンボル展示



常設展示「巨木の文化」

■漆と装飾

中屋サワ遺跡から出土した漆塗木製品や縄文土器を展示し、その高い技術と独自のデザイン性を通して、縄文時代晩期の金沢に住んだ人々が持っていたワザと美意識を紹介している。特に漆塗木製品は籃胎漆器や木胎漆器、弓、櫛、腕輪など多岐に渡る第一級の資料を展示しており、当該時期の金沢における優れた漆芸文化の一端を垣間見ることができる。



常設展「漆と装飾」



「縄文の考古楽」コーナー

③ 企画展示

企画展示コーナーでは、常設展示とは別に、毎回異なるテーマに基づいた展示を行い、金沢を中心とした北陸地方の遺跡と出土遺物を紹介している。令和4年度は下記の4回の企画展を開催した。

企画展「弥生・古墳時代の匠の技」

- 会 期 令和4年6月25日（土）～令和4年9月11日（日）
- 概 要 西念・南新保遺跡出土品 600 点が令和3年12月に石川県指定文化財に指定されたこと記念した企画展。弥生時代後期の木製品を中心に、当時の高い木工技術や工人の伝播ルートなどを西念・南新保遺跡出土品を中心に紹介した。
- 展示資料 浮彫花卉木製高杯、透彫木製高杯、桶、琴、装飾板、堅櫛、団扇 など

企画展「堅田館跡展」

- 会 期 令和4年9月17日（土）～令和5年1月9日（日）

概要 金沢の中世遺跡を代表する「堅田館跡（堅田B遺跡）」の出土品（石川県指定文化財）のうち特徴的な優品を展示し、地方における有力武士の生活の様子を紹介した。

展示資料 巻数板、卒塔婆、転読札、青磁碗、天目碗、梅瓶、漆器、鳴鏑、土師器皿 など

企画展「古代の山林寺院・三千寺跡」

会期 令和5年1月14日（土）～令和5年3月12日（日）

概要 奈良・平安時代の山林寺院跡である「三千寺跡（三小牛ハバ遺跡）」の出土品及び遺跡発見の契機となった銅板鋳出仏（個人蔵）が令和3年3月に金沢市指定文化財となったことを記念した企画展で、同遺跡を始めとした県内の山林寺院出土遺物を展示・紹介した。

展示資料 銅板鋳出仏（個人蔵）、奈良三彩小壺、墨書土器、木簡、仏具、木製僧形像 など

企画展「石川中央都市圏考古資料展 ー古代編ー」

会期 令和5年3月18日（土）～令和5年6月4日（土）

概要 令和5年が加賀立国（弘仁14年・西暦823年）から1200年の節目に当たることを記念し、石川中央都市圏を構成する金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町の4市2町に所在する奈良・平安時代の遺跡から出土した優品を展示。

展示資料

金沢市	末窯跡群：須恵器、土師器 広坂廃寺跡：瓦、刻書土器 三千寺跡：奈良三彩小壺、墨書土器、灯明皿 上荒屋遺跡：墨書土器、木簡
白山市	横江荘遺跡：緑釉三足盤、墨書土器 北安田北遺跡：須恵器、緑釉皿、サンゴ
かほく市	高松・押水窯跡群：須恵器
野々市市	末松廃寺跡：瓦、瓦塔、銭貨（複製） 三日市A遺跡：墨書土器 粟田遺跡：墨書土器
津幡町	加茂遺跡・加茂廃寺：墨書土器、鴟尾、瓦塔 北中条遺跡：墨書土器、転用硯

《利用実績》

④ 縄文文化体験コーナー

金沢市埋蔵文化財センター2階の縄文文化体験コーナーでは様々な縄文体験を無料で実施している。縄文体験はいつでも体験できる**通年メニュー**と毎月内容が変わる**期間限定メニュー**があり、いずれも縄文時代の文化や生業を体験できる内容となっていて、当館の体験型展示コンセプトの一翼を担っている。

令和4年度は昨年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため期間限定メニューを中止し、通年メニューのみ開催した。その中で、人気メニューの一つである「歴史文様しおり作り」では企画展の内容にちなんだオリジナル文様を考案するなど、魅力ある古代体験の提供に努めている。

年度	利用人数
平成27年度	449 ※1
平成28年度	1,919
平成29年度	2,140
平成30年度	2,322
令和元年度	2,393
令和2年度	1,111 ※2
令和3年度	988 ※2
令和4年度	1,165

※1 11月8日～3月31日
※2 新型コロナウイルスによる臨時閉館あり

- 通年メニュー 土器パズル 勾玉作り 古代衣装試着 拓本作り
 ペーパークラフト ぬりえ しおり作り
- 期間限定メニュー 縄文かご・コースター作り 土偶作り 土笛作り くみひも作り
 うでわ作り はたおり



勾玉作りの様子



勾玉作り



歴史文様しおり作り

⑤ 金沢縄文ワールド見学バス助成制度

金沢縄文ワールドでは、本市及び近郊の縄文遺跡の見学・体験を希望する小学校や関連団体に対し、往復のバス使用料を助成する制度を実施しており、歴史学習や校外活動に活用されている。見学コースは下記の3コースを設定しており、申込団体が希望するコースを選択できる。見学バス助成は予算上10団体程度を募集しているが、助成に依らない団体見学は随時受け入れている。

① 展示見学コース —金沢縄文ワールドの展示と館内の見学—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、館内設備見学）

所要時間 約40分

② 縄文文化体験コース —金沢縄文ワールド展示見学と縄文体験—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、縄文体験（勾玉作り等））

所要時間 約90分

③ 縄文文化探訪コース —金沢縄文ワールド展示見学と近郊の縄文遺跡めぐり—

行 程 金沢縄文ワールド、御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約120分



金沢縄文ワールドバス助成制度

《利用実績》

年度	利用人数
平成27年度	5団体 168人
平成28年度	7団体 288人
平成29年度	9団体 423人
平成30年度	6団体 312人
令和元年度	7団体 408人
令和2年度	2団体 82人
令和3年度	5団体 305人
令和4年度	9団体 347人

(2) 歴史ふれあい講座

当センターでは平成 12 年度より、職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について小学校 6 年生に講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。

講座内では縄文時代から古墳時代の歴史について学び、実際に遺物に触れる土器実見と勾玉作りの体験を行う。さらに現在の生活と文化財との接点を意識してもらえるよう、各小学校の校区内に所在する文化財や埋蔵文化財包蔵地を記した「文化財マップ」を配布し、校区内の遺跡から発掘された出土品を展示している。

平成 22 年度からは、金沢市文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私共同で事業を行っている。今年度は 4 月 26 日の浅野町小学校から始まり、6 月 17 日の粟崎小学校に終わる 23 校で開催した。うち 19 校が勾玉作りを、4 校で土器実見を行った。参加児童数は 1297 名で、平成 12 年度からの累計は 36,726 名となった。

《過去 5 年間の事業実績》

実施年度	学校数	講座数	児童数
平成 30 年度	27	51	1,608
令和元年度	19	58	1,928
令和 2 年度	新型コロナウイルスにより中止		
令和 3 年度	12	26	838
令和 4 年度	23	39	1297



勾玉作り体験の様子

(3) 金沢子ども歴史探検隊

金沢市埋蔵文化財センターでは、将来を担う子どもたちを対象に、市内の史跡・建造物など実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢子ども歴史探検隊」を平成15年度より実施している。この活動は、ふるさとの歴史をより深く理解してもらうことで、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護っていく「金沢型の文化財保存活動」の実現をめざす環境を醸成することを目的としている。

第22回目となる令和4年度は、「チャレンジ！遺跡体験発掘S3（シーズンスリー）」と題し、作年度に引き続き南新保遺跡群での体験発掘を実施した。

南新保遺跡群は区画整理事業に伴い令和2年度から金沢市が発掘調査を実施しており、本年度は事業地内の南新保C遺跡・南新保D遺跡・南新保三枚田遺跡にて発掘調査が行われた。体験発掘の会場となった南新保C遺跡は弥生時代から平安時代までの複合遺跡で、特に弥生～古墳時代の遺構と遺物に良好なものが含まれる（6頁参照）。

体験発掘には親子28名の参加があり、発掘調査担当者が南新保遺跡群の概要と出土遺物を解説した後、屋外での発掘調査を体験した。調査は弥生～古墳時代の河川跡を中心に約2時間実施し、遺構からは当該期の土器や木製品が多数出土した。参加者の感想は概ね好評であり、埋蔵文化財への理解と親しみを深めるという当初の目的をほぼ達成する結果となった。今後も同様のイベントを継続して実施し、金沢の豊富な歴史文化遺産を次世代へと守り伝える環境の醸成に努めていきたい。

《過去5年の事業実績》	
実施年度	タイトル
平成30年度	「金沢子ども探検隊in金沢城」
令和元年度	「金沢子ども探検隊in湯涌江戸村」
令和2年度	「チャレンジ！遺跡体験発掘」
令和3年度	「チャレンジ！遺跡体験発掘R」
令和4年度	「チャレンジ！遺跡体験発掘S3」

第21回金沢子ども歴史探検隊「チャレンジ！遺跡体験発掘S3（シーズンスリー）」

開催日：令和4年11月19日（土）

内容：南新保遺跡群（南新保C遺跡）の見学と体験発掘

参加者：12名（小学生6名・保護者6名）



(4) 市民ふるさと歴史研究会『鎌倉時代の武士館～堅田館～』

市民ふるさと歴史研究会は、金沢市内の発掘調査等による成果を市民に伝えることを目的として平成16年(2004)から実施している。

令和4年度は、堅田館跡の講演会を開催した。まず発掘調査を担当した向井主査から発掘調査の概要を説明し、次に京都大学教授、富島義幸氏に建築史学の視点から鎌倉時代の武士館の復元についてご講演いただいた。また、堅田館跡から実際に出土した建築材の解説や出土遺物の見学なども行われた。

実施日：令和4年11月23日(水・祝)13:30～15:30

講師：富島義幸氏(京都大学 教授)、向井裕知(金沢市歴史都市推進課 主査)

会場：金沢市埋蔵文化財センター

参加者：39名



向井主査 堅田館跡の発掘調査報告



富島教授 講演



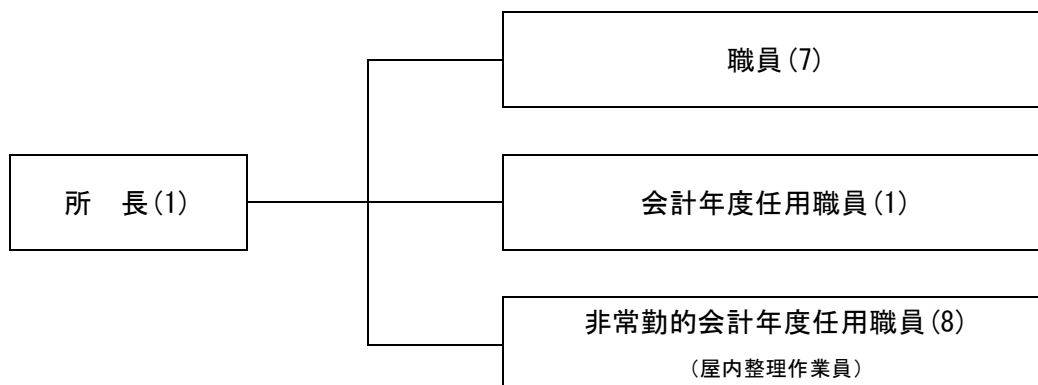
堅田館跡出土材木類の展示解説(富島教授)



堅田館跡出土遺物の展示解説(向井主査)

4. 組織

令和5年3月31日現在



令和4年度

金沢市埋蔵文化財調査年報

令和5(2023)年3月31日発行

発行 金沢市

編集 金沢市埋蔵文化財センター

〒920-0374

石川県金沢市上安原南 60 番地

TEL 076-269-2451

FAX 076-269-2452

mail:maibun@city.kanazawa.lg.jp